

2012年6月1日

各 位

AES 日本支部 支部長 西村 明
AES ジャパンコンファレンス・仙台 2012 実行委員長 岩谷 幸雄
AES ジャパンコンファレンス・仙台 2012 広報委員長 山崎 淳



「AES ジャパンコンファレンス・仙台 2012」
協賛およびプロダクトセミナー開催のお願い



拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は AES 日本支部の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本支部では、来る2012年10月9日(火)より11日(木)まで、「AES ジャパンコンファレンス・仙台 2012」を、せんだいメディアテークにて開催するはこびとなりました。

ご承知のとおり、AES(Audio Engineering Society)は、1948年に設立されたオーディオ技術に関する国際的組織であり、オーディオ技術に関連した研究者からソフト制作エンジニアまで、様々な分野及び職種から14,000名を超える専門家が世界各国より参画しています。AES 日本支部は、AESの極東における最初の支部として1952年に設立されて以来、常にプロオーディオ技術の研究、開発、普及活動を行ってまいりました。その一環として1985年より2009年まで「AES 東京コンベンション」を隔年開催しておりました。一方2006年からは、地方を含め全国的にオーディオ技術の最先端についての情報交換の場を提供すると同時に、AESの活動に対する理解を広げていくことを目的として、隔年程度で「AES ジャパンカンファレンス」を開催しております。「東京コンベンション」は、機器展示やプロダクトセミナー等関連企業各位の出展イベントを含む大規模なイベントですが、「ジャパンコンファレンス」では、ワークショップや技術発表を中心とし、企業パネル展示および簡易なプロダクトセミナーを含むオーディオ技術の情報交換の場となることを目指しております。

今回のジャパンコンファレンス・仙台 2012のテーマは、「多チャンネルオーディオの可能性 “Future of Multichannel Audio”」です。近年のオーディオハードウェアとソフトウェアの発達により、サラウンドフォーマットを超えた新しい多チャンネル空間収録、音響合成、音場再生が可能となりつつあります。東北大学電気通信研究所の先端的な研究施設へのテクニカルツアーも含め、今後の多チャンネルオーディオ技術の進化と普及、そしてテーマに関わらず様々なオーディオ技術に関する議論と情報交換を進めていきたい所存であります。

「AES ジャパンコンファレンス」は、技術発表やワークショップを中心としたセミナー形式の技術情報の提供を主眼としておりますが、今回は企業の皆様にも多く参加頂きたいと考え、プロダクトセミナーもプログラムに組み入れました。是非カンファレンスの主旨をご理解頂き、オーディオ業界の発展のためにも、協賛およびプロダクトセミナーの開催のご検討頂けましたら幸いです。

今後とも、オーディオ業界ならびに AES へのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬具

1. 名称

AES ジャパンコンファレンス・仙台 2012
AES Japan Section Conference in Sendai, 2012

2. メインテーマ

多チャンネルオーディオの可能性
Future of Multichannel Audio

3. 会期

2012 年 10 月 9 日 (火) から 11 日 (水)
(10 月 9 日はテクニカルツアーのみ)

4. 会場

せんだいメディアテーク(宮城県仙台市青葉区)

5. 主催

AES 日本支部 (<http://www.aes-japan.org/>)

6. 主な内容

以下予定となります。

- ・ 基調講演
「多チャンネルオーディオによる放射指向性音響の実現に向けて」
勝本道哲 (株式会社勝本総合研究所 代表取締役社長)
- ・ 技術発表 20～30 件を予定
- ・ ワークショップ 4 件程度, 内容は検討中
- ・ プロダクトセミナー 5～10 件程度を予定
- ・ 学生プログラム 2 件(下記検討中)
「サウンドアワード最終審査会」
「学生の学生による学生のための大学紹介」
- ・ オープニングセッション, クロージングセッション
- ・ テクニカルツアー (10 月 9 日実施)
「東北大学電気通信研究所先端音情報システム研究室」
- ・ バンケット (懇親会)

7. 実行委員会

実行委員長	岩谷幸雄 (東北学院大学)
実行副委員長	西村 明 (東京情報大学)
技術発表	委員長 丸井 淳史 (東京藝術大学) 副委員長 坂本 修一 (東北大学)
	委員 Sungyoung Kim (ヤマハ株式会社)
ワークショップ	委員長 内村 和嗣 (NHK)

	副委員長 中川原 修 (NHK)
広報/交際対応	委員長 山崎淳 (タックシステム株式会社)
	副委員長 亀川徹 (東京藝術大学)
	委員 鈴木 弘明 (株式会社ソナ)
事務局	委員長 星 和磨 (日本大学)
	副委員長 中原 雅考 (株式会社ソナ)
	委員 三村 将之 (読売テレビ)
	委員 矢入 聡 (仙台高等専門学校)

8. 協賛金

一口 50,000 円

協賛の主旨は、「開催内容に賛同して頂きオーディオ業界発展のために寄付をして頂く」とこととなります。本コンファレンスは、多くの方のボランティアで運用しており、コンファレンス開催にあたっては、ご理解頂ける企業各位の協賛が大きな支えとなります。

9. プロダクトセミナー

協賛金に加え、25,000 円/1コマ

概要につきましては次頁をご覧ください。

9. 申込方法

協賛・プロダクトセミナーとも別紙申込用紙にご記入の上、

Eメール(conf2012-sponsor@aes-japan.org)にてお申し込みください。

お問い合わせに関しても、同 E メールまでお願い致します。

なおプロダクトセミナーの開催時刻については申込順とさせていただきます。

※申込締切:2012年7月13日 ※入金締切:2012年8月31日

10. 申込先

AES 日本支部コンファレンス協賛申込係

E-mail: conf2012-sponsor@aes-japan.org

URL: <http://www.aes-japan.org/>

〒164-0013 東京都中野区弥生町 2-19-9 Tel: 03-5358-7320, Fax: 03-5358-7328

11. その他

協賛頂きました企業各位には、ささやかながら、下記をご提供させていただきます。

- (1) 参加チケット (1名/口)
- (2) 配布プログラムへの社名記載
- (3) 会場での社名掲示およびパンフレット等の設置スペース

設置スペースの詳細に関しては次頁をご覧ください。

プロダクトセミナー概要

1階オープンスクエア内に40名程度着席し受講可能なセミナーブースを設けさせていただきます。会場はポスター会場と併設です。プレゼンテーション形式で30分を1コマとして開催頂きたいようお願い申し上げます。

- 開催場所: せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア
(ポスター会場と協賛企業社員掲示スペースと併設)
- 開催時間: 2012年10月10日10時から16時, 30分/コマ または
2012年10月11日10時から16時, 30分/コマ
- 利用可能設備: DLPプロジェクタによる100インチ相当のスクリーンへの投射設備
ワイヤレスマイクによる拡声設備
音声以外の拡声をご希望の方は、電源供給のみお手伝いさせていただきますので、機器はご用意くださいますようお願い申し上げます。
パブリックスペースですので、拡声音量を調整させて頂くことがあります。ご了承ください。
- 広報: カンファレンス開催案内にプロダクトセミナーの概要を掲載させていただきます。
- 申込方法: 開催時刻は申込順とさせていただきます。
希望時刻を毎正時より30分ごとに記してください。
例)
第1希望: 10月10日10時より14時までのいずれか。
第2希望: 10月11日14時より15時までのいずれか。
申込先は前項をご確認ください。
- 問い合わせ: E-mailにて承ります。下記メールアドレスに送信くださいますよう宜しくお願いします。
conf2012-sponsor@aes-japan.org
担当: 山崎 淳

以上

協賛企業パネル掲示スペース概要

設置場所: せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア
(ポスター会場・プロダクトセミナー会場と併設)

設置時間: 2012年10月10日(水) 9時30分から10月11日(木) 17:30

サイズ等: 現在計画中ですが、下記の掲示スペースを用意する予定です。

[1] 社名/ポスター等 掲示エリア(パネルスペース)

約 800mm × 1,100mm (H×W)

社名は当方にて掲示させていただきますが、各社にて別途ポスター等を貼り付けていただくことが出来ます。

[2] カタログ等 設置エリア(テーブルスペース)

約 800mm × 500mm (W×D)

長机を上記パネルに隣接させて設置する予定です。

約 800 mm 幅(上記パネル幅)ごとに区切り、各社にてご利用頂くことになります。

その他

- ・ 電源の準備は出来ません。
- ・ 盗難などのトラブルには応じられません(監視員は不在です)。
- ・ 設置エリア[2]内であれば小型軽量の機器など設置は構いませんが、電源準備や盗難トラブルには応じられません。
- ・ ポスターセッション、プロダクトセミナー等が開催されるオープンスクエア内に設置する予定ですので、音出しや商談などをご遠慮ください。
- ・ 恐縮ながら「協賛」は「出展」ではございませんので、上記スペースに関しましては、出展ブースではなく、協賛企業名の展示パネルとご理解頂ければ幸甚です。

以上